

事前評価表

整理番号	8
------	---

地域（地区）名	かえつ 下越	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	新潟県	対象市町村	にいがたし 新潟市ほか9市町村
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	本地区は、新潟県北部に位置し、北西側は日本海に面し、北から東側にかけては山形県・福島県の県境と接している。対馬暖流の影響により比較的温暖で少雪な平野部から、朝日連峰や飯豊連峰等の高峰群に囲まれた水源地域まで、多様な森林環境を有している。 本地区の総面積 454 千 ha のうち、森林面積は 306 千 ha（うち民有林 158 千 ha）、民有林における人工林面積は 48 千 ha（人工林率 30%）である。人工林の構成樹種は、スギが 88%、主に海岸防災林として植栽されたアカマツ・クロマツが 10%を占めている。 本地区は、10 齢級以上の収穫期を迎えるスギ人工林が 77%を占め、県内でも比較的少雪な地域のため、形質の良いスギ材の生産拡大が期待されるほか、下流域の水源地として重要な役割を担っている。このため、本地区では、水源涵養機能を主とする公益的機能の維持増進と併せ、森林資源の循環利用を進めていく必要がある。 本事業の実施に当たっては、保育や間伐、主伐後の確実な再生林による森林資源の循環利用を進めるとともに、一貫作業の積極的な導入や森林整備の集約化、効率的な路網整備の推進等により施業の低コスト化を図ることで、適切な森林整備を推進し、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の高度発揮や森林資源の循環利用を図る。
事業内容・事業費	森林整備：3,623ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等 路網整備：林道開設 13,445m 総事業費：3,853,240 千円（税抜 3,502,945 千円）
費用便益分析結果	$B/C = 2.43$ （総便益（B）＝15,785,534 千円、総費用（C）＝6,503,294 千円）
評価結果	必要性： 利用期を迎えた森林が多く所在するため、木材生産の拡大を図っていくとともに、森林の有する公益的機能の維持増進のため、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性： 路網整備や集約化により、搬出間伐や再生林等の計画的かつ一体的な森林整備を実施することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 有効性： 水源涵養や土砂流出防止等、森林の有する公益的機能の高度発揮のため、主伐後の更新や適正な保育・間伐等の実施及びそれらに必要な基盤整備として路網整備を実施する事業であり、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：新潟県

地域(地区)名：下越

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,259,835	
	流域貯水便益	907,616	
	水質浄化便益	3,702,290	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,717,881	
環境保全便益	炭素固定便益	965,809	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	26,458	
	木材利用増進便益	39,619	
	木材生産確保・増進便益	2,974,141	
森林整備経費縮減便益	治山経費縮減便益	11,407	
	森林管理等経費縮減便益	2,794	
	森林整備促進便益	920,939	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	85,780	
	ふれあい機会創出便益	23,824	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	3,566	
	災害復旧経費縮減便益	92,207	
維持管理費縮減便益		42,084	
その他の便益	ボランティア誘発便益	9,284	
総 便 益 (B)		15,785,534	
総 費 用 (C)		6,503,294	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,785,534}{6,503,294} = 2.43$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{23,406,263}{7,356,636} = 3.18$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{29,560,662}{8,217,593} = 3.60$

森林環境保全整備事業 下越地域(新潟県) 概要図

